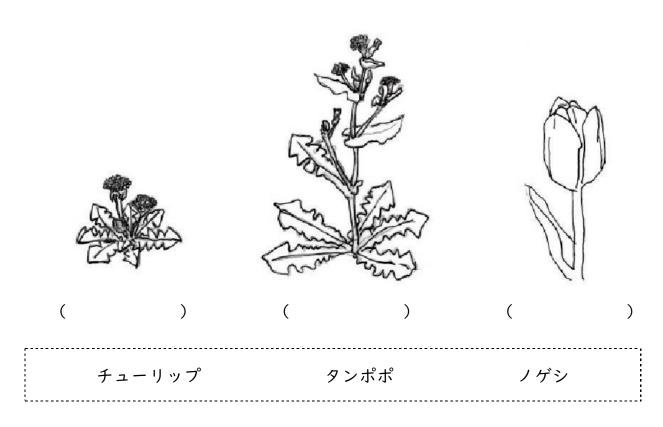
第3学年 しぜんのかんさつをしよう(1)

組 番氏名

I 植物のすがたをかんさつしました。つぎの植物の名前を の中からえらんで、 () に書きましょう。



2 虫めがねのつかい方について、 の中からえらんで、あてはまることばを()に書きましょう。



左のどうぐのなまえは、() といいます。 小さいものを() して見るときにつかいます。 目をいためるので、ぜったいに虫めがねで() を見てはいけません。

太陽 虫 大きく 小さく 虫めがね

第3学年 しぜんのかんさつをしよう(I) (解答)

組 番氏名

Ⅰ 植物のすがたをかんさつしました。つぎの植物の名前を の中からえらんで、() に書きましょう。



2 虫めがねのつかい方について、 の中からえらんで、あてはまることばを()に書きましょう。



左のどうぐのなまえは、(虫めがね)といいます。 小さいものを(大きく)して見るときにつかいます。 目をいためるので、ぜったいに虫めがねで(太陽) を見てはいけません。

太陽 虫 大きく 小さく 虫めがね

組 番氏名

1 花だんにたねをまきます。これは何のたねですか。 からえらんで、()に書きましょう。

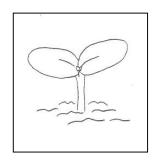






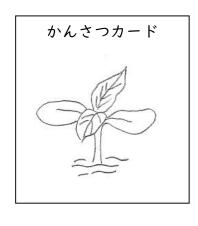
ヒマワリ ホウセンカ ダイズ

2 たねをまいたあと、さいしょに出てきた葉を何というでしょう。() に書きましょう。



•

3 めが出たあとに、植物をかんさつしました。かんさつカードに書いておくと よいものは何ですか。よいものすべてに○をつけましょう。



- ()かんさつした植物の名前
- ()かんさつした日・天気
- ()葉の形や大きさ・数
- () いっしょにかんさつした人の名前
- ()植物の高さ
- ()気づいたこと
- ()これからさく花の色

第3学年 植物をそだてよう(1) (解答)

組 番氏名

1 花だんにたねをまきます。これは何のたねですか。 からえらんで、()に書きましょう。







(ヒマワリ

(ダイズ]

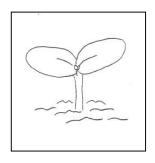
(ホウセンカ)

ヒマワリ

ホウセンカ

ダイズ

2 たねをまいたあと、さいしょに出てきた葉を何というでしょう。() に書きましょう。



(子 葉)

3 めが出たあとに、植物をかんさつしました。かんさつカードに書いておくと よいものは何ですか。よいものすべてに○をつけましょう。



- (○) かんさつした植物の名前
- () かんさつした日・天気
- () 葉の形や大きさ・数
- ()いっしょにかんさつした人の名前
- (○)植物の高さ
- () 気づいたこと
- ()これからさく花の色

第3学年 こん虫をそだてよう

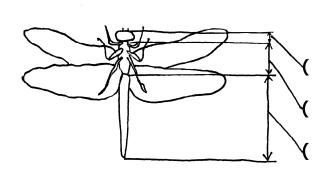
公口	¥	エ <i>口</i>
組	番	氏名

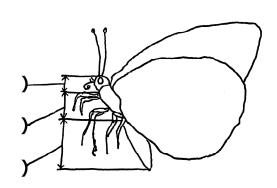
1 モンシロチョウとトンボのせい虫の体のつくりについてしらべました。

(1) ()にあてはまることばを_____の中からえらんで、書きましょう。

モンシロチ					t .() ()
() の3-	つの部分	分があ	ります。				
むねには は	はねと() 本の	あしがつ	いていて	、はらは	いくつが	かの
()からっ	できてい	ハます。	•				
このような	体のつく	くりを	してい	る虫を() とい	ハます。	
こん虫	3	6	8	はら	むね	ふし	頭	-

(2) 体の3つの部分を何といいますか。 () に書きましょう。





、皮をぬいで大きく
)になって出てき
) になり(山(さ
せい党
きましょう。
アメンボ

第3学年 こん虫をそだてよう (解答)

組 番氏名

- I モンシロチョウとトンボのせい虫の体のつくりについてしらべました。
- (1) ()にあてはまることばを の中からえらんで、書きましょう。

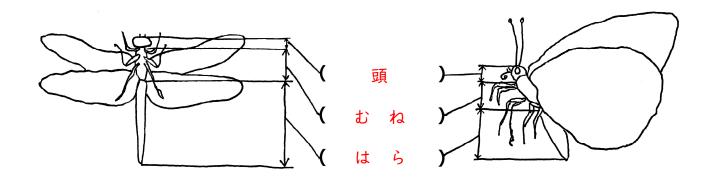
モンシロチョウやトンボのせい虫の体には、(頭)(t ね) (t ら)の3つの部分があります。

t むねには はねと(t 6)本のあしがついていて、はらはいくつかの(t 0)からできています。

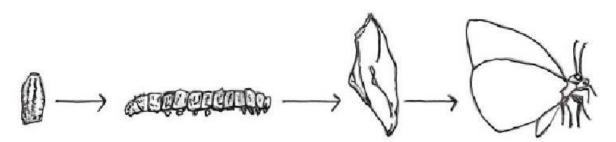
このような体のつくりをしている虫を (こん虫) といいます。

こん虫 3 6 8 はら むね ふし 頭

(2) 体の3つの部分を何といいますか。 () に書きましょう。



2 モンシロチョウのそだち方について調べました。()にあてはまるはいることばを の中からえらんで、書きましょう。



チョウは、(たまご) から(よう $\frac{1}{2}$) になり、 $\frac{1}{2}$ をぬいで大きくなり、やがて(さなぎ) になります。

そして、さなぎの中で新しい体を作り上げて、(せい虫) になって出てきます。

よう虫 さなぎ たまご せい虫

3 下の動物の中から、こん虫をえらび、えらんだりゆうを書きましょう。



こん 気は (カマキリ と アメンボ)

りゆう

- ・こん虫は、あしが6本ついているから。
- ・こん虫は、体が頭・むね・はらの3つの部分に分かれているから。など

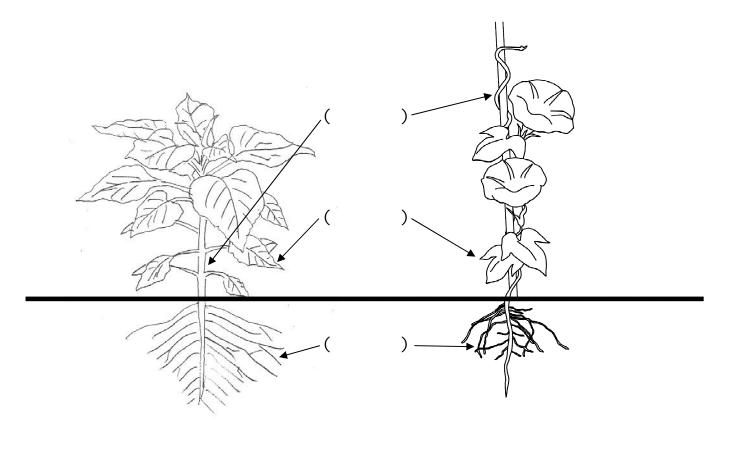
第3学年 植物をそだてよう(2)

組 番氏名

I ホウセンカがそだってきました。めが出たころとくらべて、つぎのことはどのようにかわりましたか。() に書きましょう。



2 ヒマワリとアサガオの体は、どのようなつくりになっているでしょうか。やじるしの部分の名前を書きましょう。



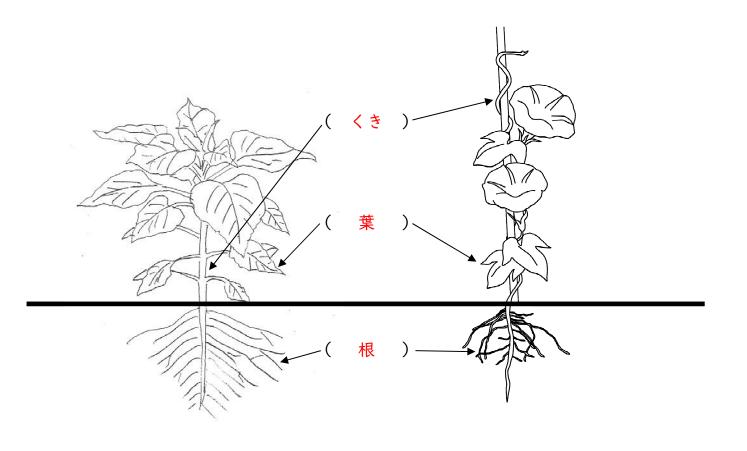
第3学年 植物をそだてよう(2) (解答)

組 番氏名

I ホウセンカがそだってきました。めが出たころとくらべて、つぎのことはどのようにかわりましたか。() に書きましょう。

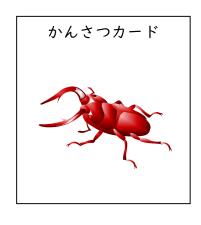


2 ヒマワリとアサガオの体は、どのようなつくりになっているでしょうか。やじるしの部分の名前を書きましょう。



				ⁱ
虫おち	· · 葉	 キャベツ	 木のみつ	
オオカマキリ	()		Marie Contraction of the Contrac
モンシロチョウのよう虫	()		Λ
ダンゴムシ	()		
カブトムシ	()		 ،
「の動物は、それぞれ何を良」()に書きまし。		V) (C (V · Ø)	, (U & J _{0 [} ;	∀ ゚ウん
下の動物は、それぞれ何を食	食べ ‡ .	, ,		かんさ
			葉の形 していたこと	
			植物の名前 色・形・大きさ	
		()	見つけたばしょ	
かんさつカード			見つけた動物の名 日にち・天気	削

I 校庭で、こん虫などの動物をかんさつします。かんさつカードに書くとよいものを5つえらんで、○をつけましょう。



(0)見つけた動物の名前
(0)日にち・天気
(0)見つけたばしょ
()植物の名前
(0)色・形・大きさ
()葉の形
(0)していたこと

2 下の動物は、それぞれ何を食べものにしているのでしょう。 からえらんで、 () に書きましょう。

カブトムシ

(木のみつ)

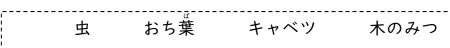
ダンゴムシ

おち葉)

モンシロチョウのよう虫 (キャベツ)

オオカマキリ

虫

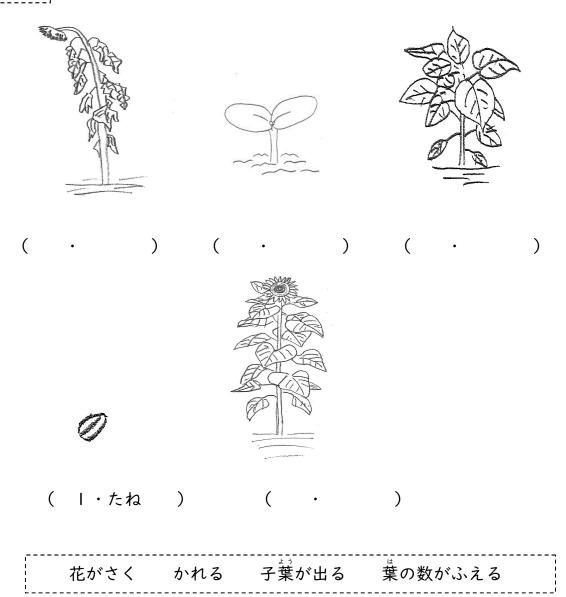


- **3** 動物は、だいたい決まったばしょで見つかります。それはなぜか、 の中 に書きましょう。
 - ・くらすのによいから。
 - 食べものがあるから。
 - ・かくれるのにつごうがよいから。

など

組 番氏名

Lマワリはどのようなじゅんじょでそだってきましたか。じゅんにばんごうを書き、**からあうことばをえらびましょう。



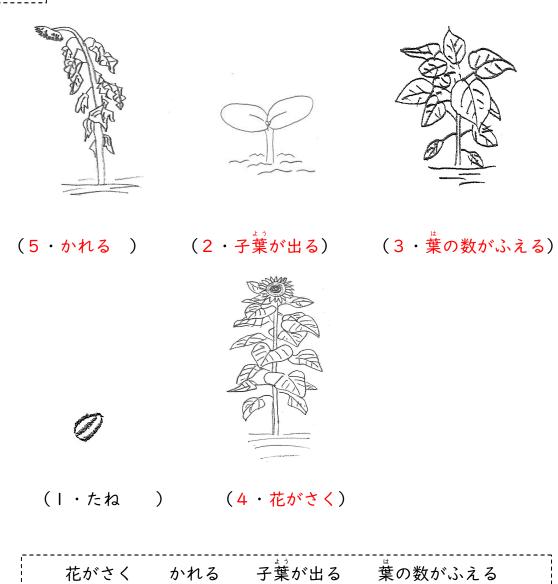
2 ホウセンカとヒマワリのそだつじゅんじょは、ちがいますか。同じですか。

(

第3学年 植物をそだてよう(3・4) (解答)

組 番氏名

Lマワリはどのようなじゅんじょでそだってきましたか。じゅんにばんごうを書き、書き、からあうことばをえらびましょう。



2 ホウセンカとヒマワリのそだつじゅんじょは、ちがいますか。同じですか。

(同じ)

第3学年 風やゴムのはたらきをしらべよう

組 番 氏名

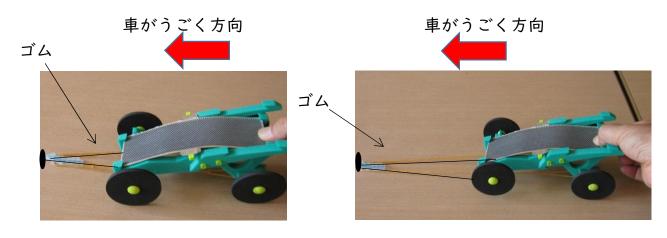
I 風でうごく車をつくり、送風きで強い風と弱い風をあてて、どこまで走るかくらべました。そのときのけっかが、下の表のようになりました。

けっか

	弱い風のとき	強い風のとき
I回目	3 m くらい	5 m くらい
2回目	3 m くらい	4 m くらい
3回目	4 m くらい	6 m くらい

- (1) 遠くまで車がうごくのは風の強さが強いときですか、弱いときですか。()
- (2) より遠くまで車をうごかすためには、どんなくふうをしたらよいでしょうか。

2 下の写真のようなゴムでうごく車を作り、うごかしました。



- ① ゴムをみじかくのばしたとき
- ② ゴムを長くのばしたとき
- (Ⅰ) 遠くまで車がうごくのは、① ② のどちらでしょう。 ()
- (2) (1) をえらんだりゆうを書きましょう。

第3学年 風やゴムのはたらきをしらべよう (解答)

組 番 氏名

I 風でうごく車をつくり、送風きで強い風と弱い風をあてて、どこまで走るかくらべました。そのときのけっかが、下の表のようになりました。

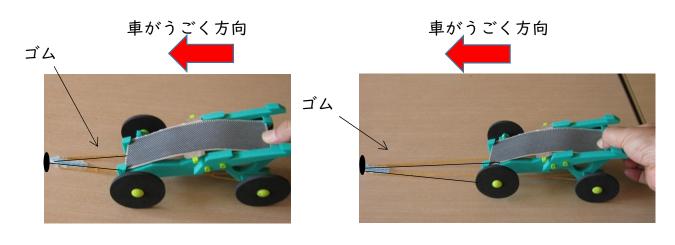
けっか

	弱い風のとき	強い風のとき
I回目	3 m くらい	5 m くらい
2回目	3 m くらい	4 m くらい
3回目	4 m くらい	6 m くらい

- (I) 遠くまで車がうごくのは風の強さが強いときですか、弱いときですか。 (風の強さが強いとき)
- (2) より遠くまで車をうごかすためには、どんなくふうをしたらよいでしょうか。
 - ・風を受けるところを今より大きくする。
 - 車をかるくする。

など

2 下の写真のようなゴムでうごく車を作り、うごかしました。



- ① ゴムをみじかくのばしたとき
- ② ゴムを長くのばしたとき
- (Ⅰ) 遠くまで車がうごくのは、① ② のどちらでしょう。 (②)
- (2) (1) をえらんだりゆうを書きましょう。
 - ・ゴムを長くのばしたほうが、ゴムがもどろうとする力が大きくなるから遠くまでうごく。など

組 番 氏名

1	()の中	にあてはる	まること	ばを、	の ₁	中からえ	.らんで書	きましょ	t う。
(1)	かげカ	できてい	ハるとき、	かげのは	はんたいか	がわには、	()	が見えま	きす。
(2))がうご	くので、	かげのむ	きは、時	間がたっ	つとかわ	ります。	
(3)	太陽は	t 、 (,)のほう	からのぼ	り、()の高	い空を通	負り
	()	のほうへ	しずみま	す。					
(4)	方位し	じしんを	つかいます	⁻ 。手ので	ひらに水平	。 Pにおいっ	て、ケー	スを回し	、色がぬ	aって
	あるはり	の先と	()	の文字を	あわせま	す。			
	たい	よう	星							
	太	陽 	星 	果 		ーキング (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	北 			
		-	じめん_							
			地面のよう		らべます。	日なた	か日	かげを		
()	の中にす	書きましょ	こう。						
(1)	nD 7	σ.1± \ <i>i</i> ± ±	> ~ + 4.		(`			
			らですか。	-	()			
			はどちら)			
			ぎちらです)			
(4)	かわい	ているの	はどちら	ですか。	()			
ر د	\	N II + 11	<i>+</i> ÷	_	<u> የ</u>					
			を読みます			_	ア	•		
			ア、イ、ウ	7075		4				
27	にでしょう) 。					Y			
	()					*			
							- ()	. 1		
					V		_			
								ל		
たり	いよう									
大	陽のうこ	ごきをし	らべるとき	きに、ちゅ	ゅういした	よければな	よらない	ことを書	きましょ	:う。
1										

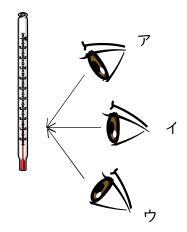
第3学年 太陽のうごきと地面のようすをしらべよう (解答)

組 番氏名

									_
Ι () の中	っにあてはま	きることに	ばを、¦	 	中から	えらんで	`書き	ましょう。
(1)	かげができて	ているとき、	かげのに	はんた	いがわには	:, (太陽)が	見えます。
(2)	(太陽)がうご	くので、	かげの	のむきは、	時間が	たつとか	わりま	ます。
(3)	太陽は、(東) のほ ⁻	うから	のぼり、	(j) σ	高い	空を通り
	(西)	のほうへし	」ずみま っ	す。					
(4)	方位じしんる	とつかいまっ	す。手ので	ひらに	水平におい	、て、ケ	- 一スを回	回し、	色がぬって
	あるはりの先と	(北) の	文字を	: あわせま ⁻	す。			
	 たい よう								
	太陽	星 	東	西	南	北			
0 11	なたと日かげの	じめん	: + + /	+	+ 044		D /. (\$	+	
				らべま	り。日なた	ב מ׳	日かげ	8	
() の中に	に書きまし。	とう。						
					_,,				
(1)	明るいのはど	ちらですか	0	(日なた)			
(2)	しめっている	のはどちら	ですか。	(日かげ)			
(3)	つめたいのは	どちらです	か。	(日かげ)			
(4)	かわいている	のはどちら	ですか。	(日なた)			

3 おんど計の目もりを読みます。 正しい読み方は、ア、イ、ウのうち どれでしょう。

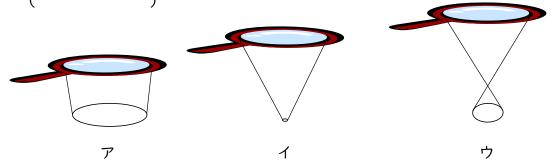
(1)



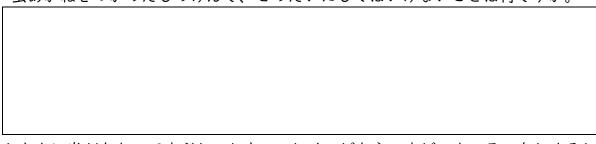
4 太陽のうごきをしらべるときに、ちゅういしなければならないことを書きましょう。

- ・太陽をちょくせつ見てはいけない。
- ・太陽を見るときには、しゃこうばんを使う。 など

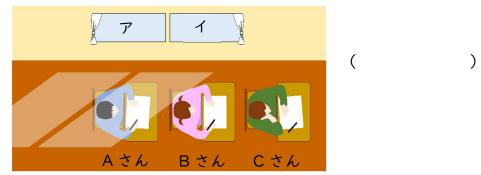
第3学年 分	光のはたらきをしら	べよう 組	番 氏名	
)の中にあてはまる 太陽の光を(中からえらんで書	言きましょう。)すすみ
	まがりながら	 はねかえす	まっすぐに	
2 かがみを	3まいつかって、図の	ように、太陽の光を	かべにあつめまし	
ア	1 7	いちばん明るい。 よう。 いちばんあたたた のうちどれでしょ	(いくなっている点)
	をつかって、じっけん		1	
)の中にあてはま ねをつかうと、光を(
	図でいちばんあつくな			t う。
()			



4 虫めがねをつかったじっけんで、ぜったいにしてはいけないことは何ですか。



5 A さんに光があたってまぶしいとき、アとイのどちらのまどのカーテンをしめるとよいでしょうか。



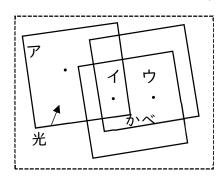
第3学年 光のはたらきをしらべよう (解答)

組 番氏名

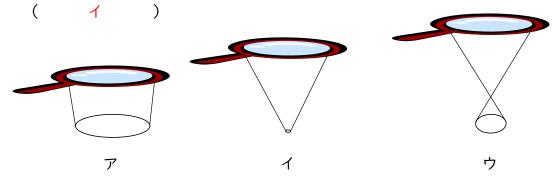
I () の中にあてはまることばを、 の中からえらんで書きましょう。 かがみで、太陽の光を (はねかえす)と、光は (まっすぐに)すすみます。

まがりながら はねかえす まっすぐに

2 かがみを3まいつかって、図のように、太陽の光をかべにあつめました。



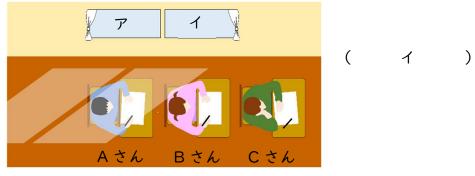
- (1) いちばん明るい点は、ア、イ、ウのうちどれでしょう。(イ)
- (2) いちばんあたたかくなっている点は、r、r、r、r0 のうちどれでしょう。 (r0)
- 3 虫めがねをつかって、じっけんをしました。
- (1) ()の中にあてはまることばを、書きましょう。虫めがねをつかうと、光を (集める)ことができます。
- (2) 下の図でいちばんあつくなるのは、ア、イ、ウのうちどれでしょう。



- 4 虫めがねをつかったじっけんで、ぜったいにしてはいけないことは何ですか。
 - ・虫めがねで太陽を見てはいけない。
 - ・虫めがねで光を集めるときに、人の体や生きものにあててはいけない。
 - ・虫めがねで光を集めたところを、長く見つめてはいけない。

など

5 A さんに光があたってまぶしいとき、アとイのどちらのまどのカーテンをしめるとよいでしょうか。

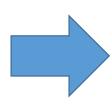


第3学年 ものの重さをしらべよう

組 番 氏名

1 青と白のおり紙を2枚用意して重さをはかったらつりあいました。そのあと、 青のおり紙でつるを作りました。つるをのせると、てんびんはつりあいますか。







- 2 はかりでねん土の重さをはかったら 100gありました。このねん土をぜんぶっかって動物を作りました。
- (Ⅰ) 重さはどうなったでしょうか。正しいものの()に○をつけましょう。
 - () もとの重さより、重くなった。
 - () 重さは変わらなかった。
 - ()もとの重さより、かるくなった。



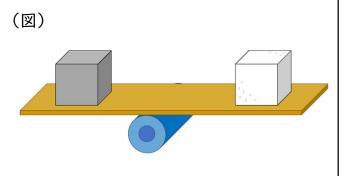
(2) ねん土や紙は形をかえると重さは かわりますか。



3 下の図は、同じたいせきでさいころの形をした鉄とはっぽうポリスチレンを、 シーソーにのせたところを表しています。

下の図で、おかしいところとそのりゆうを書きましょう。





(おかしいところ) (りゆう)

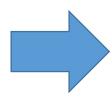
第3学年 ものの重さをしらべよう (解答)

組 番 氏名

1 青と白のおり紙を2枚用意して重さをはかったらつりあいました。そのあと、 青のおり紙でつるを作りました。つるをのせると、てんびんはつりあいますか。

(つりあう)







- 2 はかりでねん土の重さをはかったら 100gありました。このねん土をぜんぶつかって動物を作りました。
- (Ⅰ) 重さはどうなったでしょうか。正しいものの()に○をつけましょう。
 - () もとの重さより、重くなった。
 - () 重さは変わらなかった。
 - () もとの重さより、かるくなった。



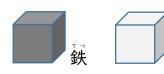


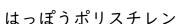
(2) ねん土や紙は形をかえると重さは かわりますか。

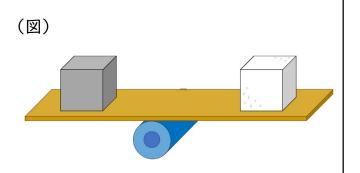
(変わらない)

3 下の図は、同じたいせきでさいころの形をした鉄とはっぽうポリスチレンを、 シーソーにのせたところを表しています。

下の図で、おかしいところとそのりゆうを書きましょう。







(おかしいところ)

つりあっているところ

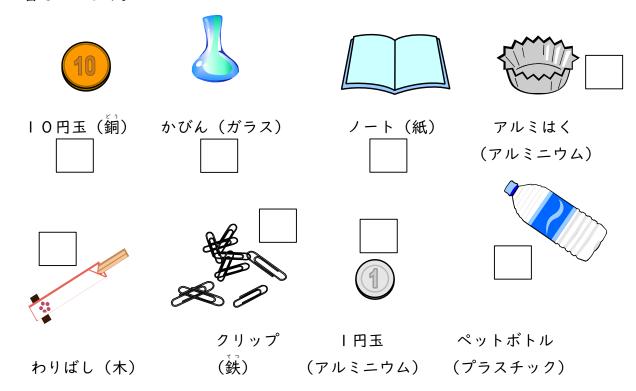
(りゆう)

- 同じ体せきだったら鉄のほうがおもいから。
- 同じ体せきだったら重さはちがうから。

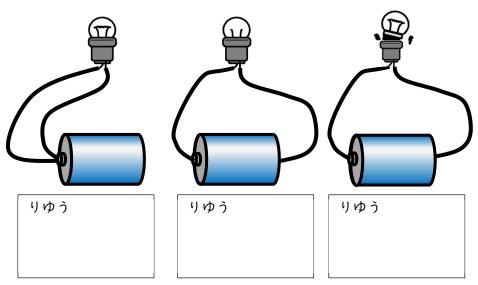
組	番	氏名
ルロ	188	ハヤ

)の中にあてはまることばを書きましょ		
(1)	まめてんきゅう 豆 電 球 につないだどう線を、かん電池の()きょくと()
	きょくにつなげると、あかりがつきます。		
	一つのわになった電気の通り道のことを、(
(3)	鉄、銅、アルミニウムなどの()は、	電気を通します。	

2 下のいろいろなもののうち、電気を通すものには○、通さないものには×を□の中 に書きましょう。



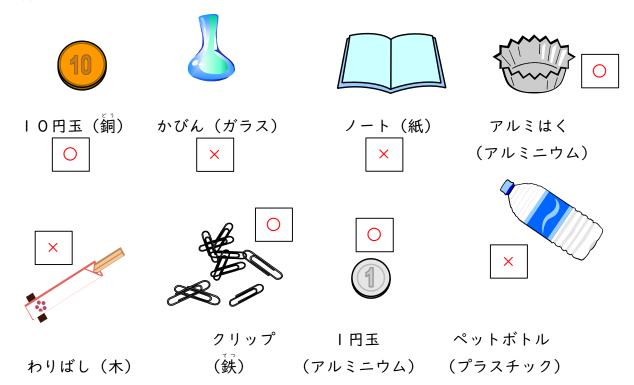
3 下の図の豆電球は明かりがつきません。なぜでしょうか。そのりゆうを書きましょう。



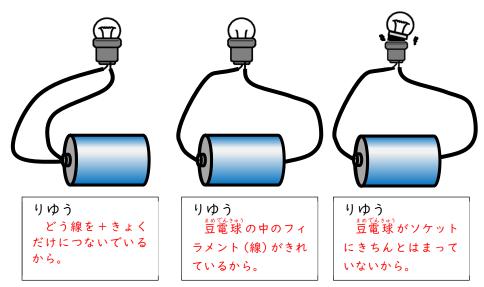
第3学年 豆電球にあかりをつけよう (解答)

組 番氏名

- l () の中にあてはまることばを書きましょう。
- (1) 豆電球につないだどう線を、かん電池の(+(-)))きょくと(-(+))) きょくにつなげると、あかりがつきます。
- (2) 一つのわになった電気の通り道のことを、(回路)といいます。
- (3) 鉄、銅、アルミニウムなどの(金ぞく)は、電気を通します。
- 2 下のいろいろなもののうち、電気を通すものには○、通さないものには×を□の中に書きましょう。



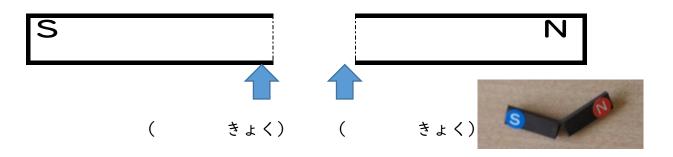
3 下の図の豆電球は明かりがつきません。なぜでしょうか。そのりゆうを書きましょう。



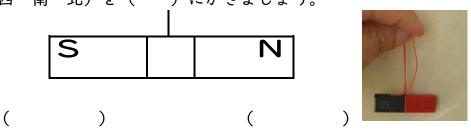
第3学年 じしゃくのふしぎをしらべよう

			組 番 氏名	
	しゃくについてあっ		下の)中からえらんで
)に書きましょ ² ぼうじしゃくの両フ) と ()があります。
(2)	じしゃくには()を引きつけ	る力があります。	
(3)	二つのじしゃくの『	同じきょくどうしを	近づけると()合います。
(4)	ニつのじしゃくのフ	ちがうきょくどうし	を近づけると()合います。
(5)	鉄のくぎをじしゃく になり、さ鉄がつま		おいておくと、力の	か弱い()
S	きょく Nきょく	しりぞけ ガ	· ·ラス 銅 鉄	アルミニウム
ちれ	がうきょく 同じき	きょく 引き	じしゃく 電池	

2 ぼうじしゃくをうっかり落として二つにわってしまいました。われたところは どんなきょくになっているでしょうか。



3 ぼうじしゃくを糸につるしておいたら、ある方向をさして止まりました。止まった方がく(東・西・南・北)を()にかきましょう。



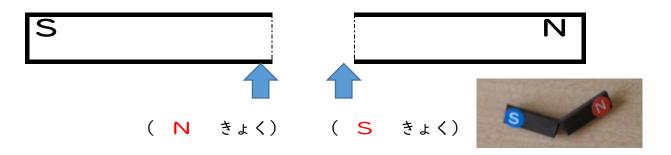
第3学年 じしゃくのふしぎをしらべよう (解答)

組	番	氏名
XH.	→	<u> </u>
πH	1887	EX. 47

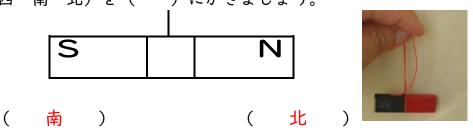
- ししゃくについてあてはまることばを、下のの中からえらんで()に書きましょう。
- (I) ぼうじしゃくの両方のはしには(Sきょく)と(Nきょく)があります。 ※逆でもよい
- (2) じしゃくには (鉄) を引きつける力があります。
- (3) 二つのじしゃくの同じきょくどうしを近づけると(しりぞけ)合います。
- (4) 二つのじしゃくのちがうきょくどうしを近づけると(引き)合います。
- (5) 鉄のくぎをじしゃくにつけてしばらくおいておくと、力の弱い(じしゃく) になり、さ鉄がつきます。

Sきょく Nきょく しりぞけ ガラス 銅 鉄 アルミニウム ちがうきょく 同じきょく 引き じしゃく 電池

2 ぼうじしゃくをうっかり落として二つにわってしまいました。われたところは どんなきょくになっているでしょうか。



3 ぼうじしゃくを糸につるしておいたら、ある方向をさして止まりました。止まった方がく(東・西・南・北)を()にかきましょう。



組	番	氏名
//177		777

I	音が出ているときの物のようすについてまとめました。	正しい言葉に○をつけましょ
2		

- (2) 音を止めるときは、 $\begin{cases} & \mathring{\mbox{$\mathring{\eta}$}} \mbox{$\mathring{\eta}$} \mb$
- 2 音が大きいときと小さいときのものの様子はどのようにちがいますか。
 に書きましょう。

3 糸電話の糸を風船にかえました。写真のようにしたときに相手に声がつたわるでしょうか。そのりゆうも書きましょう。



とちゅうを手でつかむ

(つたわる	•	つたわらない)
i) i	ゆう			



とちゅうをまげる

(つたわ りゆう	る・	つたわらない)

第3学年 音の伝わり方 (解答)

組 番氏名

- I 音が出ているときの物のようすについてまとめました。正しい言葉に○をつけましょう。

 - (2) 音を止めるときは、 物のふるえを止める。 物でそのままにする。
- 2 音が大きいときと小さいときのものの様子はどのようにちがいますか。
 しまきましょう。

例

- ・音が大きいときは物のふるえは大きくなり、音が小さいときは物のふるえは小さくなる。
- ・ふるえの大きさがかわる。
- 3 糸電話の糸を風船にかえました。写真のようにしたときに相手に声がつたわるでしょうか。そのりゆうも書きましょう。



とちゅうを手でつかむ

(つたわる · つたわらない) りゆう

例

声がつたわるふるえは空気の中をつたわっているから、とちゅうを手でつかんでいても風船の中の空気のふるえはとまらないから



とちゅうをまげる

(つたわる · つたわらない) りゆう

例

声がつたわるふるえは空気の中をつたわっているから、とちゅうがまがっていても風船の中の空気のふるえはとまらないから